

## 1. 略歴

|          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| 1994年3月  | 東京大学文学部国史学専修課程卒業                    |
| 1996年3月  | 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻修士課程修了       |
| 1999年12月 | 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻博士課程単位修得の上退学 |
| 2000年1月  | 日本学術振興会特別研究員 (PD)                   |
| 2003年3月  | 博士 (文学) (東京大学) (博人社 390 号)          |
| 2004年4月  | 宇都宮大学教育学部助教授 (社会科教育講座)              |
| 2007年4月  | 宇都宮大学教育学部准教授 (同)                    |
| 2011年4月  | 東京大学大学院人文社会系研究科准教授                  |

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

日本近世史

### b 研究課題

近世前期を中心に、土地制度、身分と身分制、商品流通などの観点から近世社会の特質を検討している。

### c 概要と自己評価

2018年度から、私が代表者となって科学研究費補助金による「幕府役所史料の整理・活用による近世法制史・身分論の新展開」、2019年度からは分担者である「戦乱から平和・安定への転換に関する地域比較史研究—九州を中心に」という2つの研究活動に取り組んできた。当初、前者は2020年度までの予定であったが、コロナ禍で2022年度まで延長をくりかえしつつ、ようやく一応の目途をつけることができた。関連する史料翻刻を公表することはできたが、論文・書籍等の刊行はまだできておらず、数年以内に実現したい。後者も2022年度までの予定であるが、延長の見込みであり、コロナ禍で史料調査にも支障が出ているが、これに関する成果の公表も数年以内に進めたい。この2年間、出版企画の遅れなどもあって書籍等の公表ができなかったことは反省点であるが、2022年にはこれまでの近世社会成立史に関する研究成果をまとめた単著論文集を刊行予定であり、そのための準備を進めることはできた。

### d 主要業績

#### (1) 会議主催(チェア他)

国内、「史学会大会近世史部会」、実行委員、オンライン、2020.11.8

国内、「史学会大会近世史部会」、実行委員、2021.11.14

#### (2) 教科書

『歴史総合 近代から現代へ』、岸本美緒・鈴木淳ほか、執筆、山川出版社、2021

#### (3) 史料

宮脇啓、牧原成征、『翻刻「公法纂例 乾」(一)』、東京大学日本史学研究室紀要 24、p.127-159、2020.3

宮脇啓・牧原成征、『翻刻「公法纂例 乾」(二)』、東京大学日本史学研究室紀要 25、p.101-135、2021.3

## 3. 主な社会活動

### (1) 学会

国内、日本歴史学会、理事、2020.4～